

千葉県の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

千葉県の中核的な就労支援施設として「千葉県ジョブサポートセンター」を設置し、県と国が共同して生活就労相談から職業紹介、定着支援までを一体的に実施

県

生活相談等の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・公営住宅に関する情報提供及び入居に関する相談
- ・生活福祉資金貸付等の生活支援策に関する相談、情報提供
- ・求職者に対する職業紹介・職業相談、求人情報の提供
- ・再就職及び定着支援に係るセミナー 等

② 協定・事業計画

- ・千葉県知事と千葉労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を千葉県と千葉労働局の間で策定

* 一体的な運営にあたり県及び局が互いに要望することができ、その要望を誠実に実行する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・千葉県職員、千葉労働局職員、千葉公共職業安定所長をメンバーとする運営協議会を設置

県の生活・就労相談と国の職業相談・紹介を一体的に実施することにより、求職者に対するサービスの向上と就業機会の拡大及び再就職支援の促進を図る。

千葉県・千葉労働局による一体的実施

～千葉県の中核的な就労支援施設として就業の機会拡大及び再就職支援～

千葉県

協定締結

千葉労働局

運営協議会
事業計画策定

千葉県ジョブサポートセンター（仕事と生活の総合相談）

◎ 国と県が共同した生活就労相談から職業紹介、定着支援までの一体的実施

○ 就労・生活支援のワンストップサービス

- 支援1・・・住居確保
- 支援2・・・生計維持
- 支援3・・・能力開発
- 支援4・・・就活ノウハウ
- 支援5・・・職業紹介

◇支援1・・・公営住宅・雇用促進住宅等に関する住宅情報及び入居相談

◇支援2・・・生活福祉資金貸付等の融資・住宅支援給付・生活保護制度や窓口に関する情報提供

◇支援3・・・職業訓練や各種セミナーに関する相談等

◇支援4・・・応募書類作成や面接対策及び適職診断

◇支援5・・・ハローワーク求人への職業紹介及び求人情報の提供

(1) 実施体制

千葉県

- ・生活就労相談員2名、雇用就労相談員及び受付等事務担当者4名を配置

国(ハローワーク)

- ・職業相談員(一体的実施)3名を配置
- ・求人情報提供端末8台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(25年10月末時点)
一般求職者に対する支援	◇利用者数 8,200人 ◇就職件数 300人 ◇再就職支援に係るセミナー利用者数 2,000人 * 子育てお母さん再就職支援 * 再就職活動の進め方 * 応募書類の作り方 * パソコンチャレンジ 等	◇利用者数 5,587人 ◇就職件数 184人 ◇再就職支援に係るセミナー利用者数 1,128人 中高年齢者や女性の採用に積極的な企業と求職者との情報交換の場を提供することを目的とした交流会を開催
	【24年度目標】 ◇利用者数 8,000人 ◇就職件数 240人 ◇再就職支援に係るセミナー利用者数 1,700人	【24年度実績】 ◇利用者数 8,526人 ◇就職件数 289人 ◇再就職支援に係るセミナー利用者数 2,352人
生活困窮者等に対する支援	◇生活就労相談者数 1,500人	◇生活就労相談者数 1,148人
	◇生活就労相談者数(24年度) 1,500人	◇生活就労相談者数(24年度) 1,559人

一体的実施事業による就職成功例

男性 : 40歳 平成25年に退職(正社員1年4月)
希望職種 営業職・総務事務
直近の状況 勤務条件相違から転職のため求職活動し、相当数応募するも書類選考で不採用が続いている。

① 抱える課題

- ・ 総務経験1年強あるが、IT関連一筋11年の勤務から、総務への方向転換は厳しい状況。
- ・ 応募書類について、志望動機、自己PRに問題があり、全体的に添削支援が必要な状況。
- ・ 希望月収を満たすこと、正社員希望が最低条件という状況。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・ 書類選考不通過を繰り返していることから、応募書類(特に職務経歴書)の支援が必要で、志望動機、自己PRを重点的に支援し、全体的な構成も含めた助言、作成支援を実施。
- ・ 県ジョブサポートセンターのセミナーを3回受講、県ジョブサポートセンター雇用就労相談員に面接の受け方指導を3回受け、求職者に少しずつ変化が見られた。
- ・ 担当者制でマッチングを行い、正社員及び正社員登用求人を中心に情報提供した。

③ 結果及びコメント

総務・人事事務(契約社員)に採用が決定

- 担当職業相談員のマッチング求人では線材製品メーカーに、契約社員で採用。正社員登用の可能性がある会社で、経理事務知識の習得を助言し、勉強を始めた。
- ◎ 直近の1年半は正社員になれず、まったくの方向転換で苦勞した思いから、色々な意味で心機一転を図りたいとの喜びの談。

男性 : 70歳 平成24年に退職(嘱託社員5年)
希望職種 総務(人事)、管理、日本語教師
直近の状況 知的障害施設、公的機関、マンション管理人等に応募するも不採用。

① 抱える課題

- ・ 総務・人事・管理面では経験・実力とも十分であると思料されるが、応募しても年齢でほとんど断られる。
- ・ 日本語教師については、個人的にも応募しているが、ボランティア中心なので、本人は無理、ハードルも高い状況。
- ・ 70歳でも応募、採用可能な求人検索に困難な状況。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・ これまでの職務経験の棚卸し、プライドの棚卸しの上、方向転換(ジョブチェンジ)を促す。
- ・ 方向転換について、求職者が納得できた段階で、マンション管理、駐車場管理、施設警備、介護施設の夜勤等の提案を行い、求人情報を提供する。
- ・ 応募書類の作成支援を実施し、過去の職歴の中で商業協同組合の局長(36年)の内容を強調せず、志望動機、自己PRを中心に書き上げるなどの助言。
- ・ 提供求人に応募。

③ 結果及びコメント

駐車場警備(契約社員)に採用が決定

- 70歳でも応募可能な求人を根気よく検索し、個別に紹介するなど就職実現した。就職に前向きな取組と、棚卸し、方向転換を素早く受け入れたことが良い結果に繋がった。